

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和3年5月27日（木）

2 調査対象 第6学年児童14名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、おおむね全国平均と同程度でした。

算数は、全国平均を下回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
- 友達と協力するのは楽しいですか。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。
- 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか。
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができましたか。

課題が見られた項目

- 算数の勉強は好きですか。
- コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度活用していましたか。

5 学力向上の取組

今回の学力調査結果では、2教科とも、基礎的な知識・技能は身に付けている一方で、記述式や活用力をみる問題への解答に課題が見られました。また、児童質問紙では、基本的な生活習慣、学習習慣が身に付いており、授業における学び合いにも意欲的に取り組んでいる傾向が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 授業におけるICT機器の活用も含め、多様な学習方法に取り組ませていきます。
- ・ 学習のまとめや振り返りで自分の考えを伝え合う場を設定するとともに、自分なりの課題を明確にして次の学習に取り組めるよう支援していきます。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いします。

- 規則正しい生活リズムの確立
- 家庭学習時間の確保、家庭学習習慣の確立
- メディア（インターネット回線を介して利用するものを含む）にふれる時間の調節と読書の奨励